



平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月14日

上場取引所 東

上場会社名 オープンハウス

コード番号 3288 URL <http://openhouse-group.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 荒井正昭

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長

(氏名) 今村仁司

TEL 03-6213-0776

四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第3四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	72,737	34.7	8,490	128.8	7,766	147.1	4,625	131.9
25年9月期第3四半期	53,993	—	3,710	—	3,143	—	1,994	—

(注) 包括利益 26年9月期第3四半期 4,632百万円 (138.7%) 25年9月期第3四半期 1,940百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	165.03	161.21
25年9月期第3四半期	105.40	—

1. 当社は、平成24年9月期においては、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表を作成していないため、平成25年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

2. 当社は平成25年6月28日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を計算しております。

3. 平成25年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、新株予約権は存在するものの、当社株式は平成25年9月期第3四半期においては非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第3四半期	91,846	33,912	36.9
25年9月期	78,069	29,963	38.4

(参考) 自己資本 26年9月期第3四半期 33,912百万円 25年9月期 29,963百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	25.00	25.00
26年9月期	—	0.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年9月期(予想) 配当金の内訳 普通配当 35円00銭 記念配当 5円00銭

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	18.6	13,700	34.5	12,600	37.3	7,700	36.0	273.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年9月期3Q	28,600,000 株	25年9月期	28,025,000 株
② 期末自己株式数	26年9月期3Q	— 株	25年9月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年9月期3Q	28,027,106 株	25年9月期3Q	18,925,000 株

(注) 当社は、平成25年6月28日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済み株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種経済政策の効果が下支えするなかで緩やかな回復基調が続いております。個人消費は持ち直しつつあり、企業収益にも好転の兆しがみられ、雇用情勢は着実に改善しております。一方で、今後の海外景気の下振れは、国内景気を下押しするリスクとして懸念されております。

当社グループが属する住宅不動産業界におきましては、消費マインドの改善等もあり新設住宅着工戸数は堅調に推移してきましたが、足元では、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動もあり、減少に転じております。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高72,737百万円（前年同期比34.7%増）、営業利益8,490百万円（同128.8%増）、経常利益7,766百万円（同147.1%増）、四半期純利益4,625百万円（同131.9%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(不動産仲介事業)

不動産仲介事業につきましては、平成26年4月に12店舗目の営業拠点となる綱島営業センターを出店しました。綱島営業センターを横浜・川崎エリアにおける重要な営業拠点の一つと位置付け、事業拡大に注力しました。これらの結果、売上高は2,172百万円（前年同期比13.9%増）、営業利益は1,411百万円（同26.3%増）となりました。

(不動産販売事業)

不動産販売事業につきましては、引き続き厳選した仕入れを行い、良質な住宅をリーズナブルな価格で供給することに努めてまいりました。これらの結果、売上高は70,280百万円（前年同期比35.6%増）、営業利益7,050百万円（同176.5%増）となりました。

販売形態別の状況は次のとおりです。

販売形態	棟数・戸数	売上高 (百万円)	前年同期比 (%)
新築一戸建住宅分譲	357	15,164	95.9%
土地分譲	591	26,486	127.8%
建築請負	310	4,745	111.4%
マンション分譲	225	14,853	287.8%
不動産流動化	—	8,624	183.5%
その他	—	405	35.4%
合計	—	70,280	135.6%

(不動産金融事業)

不動産金融事業につきましては、売上高は283百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益122百万円（同4.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は91,846百万円となり、前連結会計年度末と比較して13,776百万円増加しました。これは主として、不動産販売事業において仕入が順調に進んだことにより、販売用不動産が3,134百万円増加、仕掛販売用不動産が20,100百万円増加したことによるものであります。

負債の合計は57,933百万円となり、前連結会計年度末と比較して9,827百万円増加しました。これは主として、短期借入金が増加したことによるものであります。

純資産の合計は33,912百万円となり、前連結会計年度末と比較して3,948百万円増加しました。これは主として、利益剰余金が配当金の支払により700百万円減少した一方で、四半期純利益の計上により4,625百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期の連結業績予想につきましては、平成26年5月7日の発表から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,077	16,304
営業未収入金	276	223
販売用不動産	6,928	10,062
仕掛販売用不動産	35,802	55,902
営業貸付金	4,700	4,856
その他	2,591	2,334
貸倒引当金	△89	△90
流動資産合計	76,286	89,593
固定資産		
有形固定資産	315	628
無形固定資産	205	164
投資その他の資産	1,227	1,432
固定資産合計	1,748	2,226
繰延資産	33	25
資産合計	78,069	91,846
負債の部		
流動負債		
営業未払金	2,561	2,970
短期借入金	15,253	24,664
1年内返済予定の長期借入金	7,271	7,636
1年内償還予定の社債	1,380	440
未払法人税等	2,812	1,397
引当金	729	639
その他	5,646	6,017
流動負債合計	35,655	43,765
固定負債		
社債	400	820
長期借入金	11,944	13,271
引当金	9	10
その他	96	66
固定負債合計	12,450	14,167
負債合計	48,105	57,933

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,972	3,980
資本剰余金	5,873	5,882
利益剰余金	20,159	24,084
株主資本合計	30,005	33,947
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5	13
為替換算調整勘定	△46	△48
その他の包括利益累計額合計	△41	△34
純資産合計	29,963	33,912
負債純資産合計	78,069	91,846

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)
売上高	53,993	72,737
売上原価	45,132	59,007
売上総利益	8,861	13,730
販売費及び一般管理費	5,150	5,239
営業利益	3,710	8,490
営業外収益		
受取利息	1	5
受取配当金	0	1
為替差益	284	34
その他	41	36
営業外収益合計	328	78
営業外費用		
支払利息	662	604
支払手数料	182	108
その他	50	89
営業外費用合計	895	802
経常利益	3,143	7,766
税金等調整前四半期純利益	3,143	7,766
法人税等	1,148	3,141
少数株主損益調整前四半期純利益	1,994	4,625
四半期純利益	1,994	4,625

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,994	4,625
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	8
為替換算調整勘定	△61	△1
その他の包括利益合計	△54	6
四半期包括利益	1,940	4,632
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,940	4,632

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産 仲介事業	不動産 販売事業	不動産 金融事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,172	70,280	283	72,737	—	72,737
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,959	—	—	1,959	△1,959	—
計	4,132	70,280	283	74,696	△1,959	72,737
セグメント利益	1,411	7,050	122	8,584	△94	8,490

(注) 1. セグメント利益の調整額△94百万円には、セグメント間取引消去31百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△126百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。